

JCAA JOURNAL

～menu～

- p1～2. 代表理事 会長・副会長・業務執行理事 あいさつ / コンサート情報
 3. 第1回定時社員総会報告
 4. JCAA 新組織 / JCAA for You 委員会・広報部 あいさつ



1969年の夏、合歓の郷ポピュラーフェスティバルの前夜祭の飲み会がきっかけとなってアレンジャーの親睦会がスタートし、当初は同業者でなければ理解出来ない音楽の話や、悩みや愚痴をぶつけあう会だったのが段々アレンジャーの権利や地位向上を語り合う場に変わって行き翌年の1970年にアレンジャー協会の名のもとに新しい協会が発足する運びとなりました。

当初入会金1万円、月額会費3千円という当時としてはかなり高額な会費のせいもあって会員数もすくなかったのがスタジオの指揮料の制度化や編曲料値上げ交渉などの実績を積んで行くにつれ会員も徐々に増えてきました。会員の内訳も純粋なアレンジャーから映像音楽の作家、CM やゲーム音楽の作曲家など多岐にわたるにしたがい、とりあげる問題も作曲家の抱えるテーマ等が増え、平成5年11月に日本作編曲家協会と名前も新たに発足するにいたったのも時代の流れだといわざるを得ません。

アレンジャー協会の頃から責任ある会たるべく法人格取得を目指し準備をして来た訳ですが、このたびやっと一般社団法人の認定を受けるにいたりました。また、昨年来当会に現代音楽の作曲家の方々が多数入会され、これからの協会の運動は益々幅広いものになっていくものと期待しています。

音楽にジャンルの壁は無いとはいえ、取り上げる問題もますます増えてまいりましたが、このたび小六副会長の案で多種の委員会ができあがりそれぞれ当会が抱えている問題を深く掘り下げて行く体制になったのは素晴らしいことだと思います。勿論我々のルーツともいうべきアレンジャーの抱える問題もなおざりにするつもりは有りません。これまで以上に少数精鋭の委員会により活発に討議され成果をあげて行くことと期待しております。

委員会は多数できましたが、そこにお名前のおっていない会員諸氏におかれましても活発なご意見やアイデアを各委員会まで是非お寄せいただきたいと存じます。法人格取得をきっかけとして、当会が益々の発展をとげることを期待し、会員皆様方の更なるご活躍を心から願うものであります。

代表理事 会長 服部克久

JCAAは何の為にあるのか？



最初から面倒な話で申し訳ありません。しかし多くの会員にとってこれは大きな命題です。年間4万8千円の会費はただ親睦の為にだけに費やされて良い訳はありません。会創立当時の編曲家の問題も現在全て解決されたわけではありませんが、会があったからこそ改善されたことは沢山あります。作編曲家協会になってからは、私たちは作家団体の中で少しずつ発言力を増し、放送料等の改善は私たちの会のメンバーにとって非常に大きな成果でした。そして今回の法人化でさらに会はステップアップし、その存在意義を検討し新しい活動を始めなければなりません。

5月に開かれた総会の後、新体制で初めての常任理事会では、事業開始の為に組織と大卒の事業内容について具体的に話されました。

私は、目に見える形での事業が会の動きの中心にあるべきだと思っていますので、とにかく会員の利になる、なおかつ実行出来る事業を考え、確実に実現していくという形にしたいと考えています。しかし営利を追求する会社(法人)ではありませんので、資金は大きな問題であり、それを克服するアイデアが必要です。震災もあり原発問題もあり、お金が潤沢に動く時代ではありませんが、出来ることはあると思います。

私たちの会は世界でも稀にみる多種多様な作曲・編曲家の集まりです。これこそが私たちの会の武器であり、活動の原点であると考えています。

会員の皆さん！会の事業に出来るだけ多くの参加をして下さい。それ無くしてこれからの JCAA は面白くなりません。JCAAは何の為にあるのか？何が出来るのか？

ケネディの言葉ではありませんが、私たちの会を私たちが盛り上げて行こうではありませんか。よろしく願い致します。

代表理事 副会長 小六禮次郎



このたび、日本作編曲家協会(JCAA)の組織が、新しくなりました。新体制にしたのには、二つの理由があります。一つはJCAAの理事会が、より迅速に会員の皆様のご意見をくみ取り、当会の活動に生かしていくため、もう一つはより時代の流れに即した会の運営を図るためです。新体制では、会長、副会長、常任理事、業務執行理事、そして理事と事務局長とで密に連携して、諸業務をすみやかに執行いたします。

また、JCAA主催によるコンサートも、充実させてまいります。この6月には会員有志が有名な映画音楽などをアレンジして自分で演奏するコンサート「ピアノ悠々」を開催しましたが、おかげさまで好評のうちに終わることができました。JCAAは会員の皆様のお力によって支えられております。理事会一同、力を尽くしますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

代表理事 副会長 三枝成彰



新しい JCAA

5月26日 JCAA が一般社団法人となってからはじめての総会が行なわれました。

議事進行や理事改選の手順など今までと異なる方法で行ないましたが、会員の皆さんの協力によりスムーズに進行することが出来ました。この数年クラシック系の会員が増え、理事構成も変化してより広い視点を持った活動をしてゆくこととなります。そのために会内の組織もリニューアルしました。

企画部、著作権部、国際部、広報部、for You 委員会、現代音楽専門委員会が設置され、すでに活動を開始しています。形はできました。

しかしこれからが正念場で、実際にどれだけの果実を収穫できるのかが問われています。世の中では未曾有の出来事が起こり、色々な場所で色々な人々が「知恵」を出し、なんとか対応しようとしています。こういった時こそ長期的視点にたった「知恵」により、成熟した社会へ向かうことができるチャンスだと感じています。JCAA においても「知恵」により成熟した果実を実らせたいものです。

業務執行理事 直居隆雄

コンサート報告

～ 2011 年度 JCAA 主催のコンサート ～

- ♪ 4月4日 まきみちるコンサート in STB139
- ♪ 6月3日 篠崎正嗣 and friends in 渋谷 JZ Brat
- ♪ 6月23日 ピアノ悠々(ゆうゆう)コンサート in Audi Forum Tokyo
- ♪ 6月28日 山下康介 齋藤 順 Presents Sincerely Violin! Featuring 山本理紗 in 渋谷 JZ Brat
- ♪ 7月23日 “避暑地の出来事” レディースマンドリンクラブ コンサート in 軽井沢 大賀ホール

— ピアノ悠々(ゆうゆう)コンサート感想 — 石橋和巳

6月23日(木)、「ピアノ悠々(ゆうゆう)コンサート」(in Audi Forum Tokyo)に参加させて頂きました。JCAA 主催のコンサートに出演するのは初めてだったのですが、有名な映画音楽をピアノ初心者でも弾けるレベル且つ、お洒落な雰囲気演奏を楽しめる様にアレンジする、と言う今回のコンサートの趣旨に大変興味が沸き、早速エントリーを決めました。3月末に予定されていた本公演も、大震災の影響から3ヶ月の延期を経て開催の実現に至りました。私自身、震災より前にエントリーしていた曲目も、今の空気に相応しいかどうか？迷ったのですが、そのまま変えずに譜面を提出しました。恐らく、同じ想いを抱いた参加者も少なくなかったのではないのでしょうか？当日配布されたプログラムのコメント欄にも、故郷を思う気持ち、復興への思いを暗示する文章が幾つか見受けられました。誰でも簡単に弾ける、というテーマを掲げて24名のアレンジの達人が選んだ映画音楽は、期待以上にヴァリエティに富んだものでした。

アメリカ&ヨーロッパでお馴染みの映画をはじめ、ミュージカルや日本のアニメ、自作曲に至るまで、「映画音楽」と一口に言っても多種多様で、聴いていて凄く楽しかったです。共通して感じられたのは、音数を少なくして、お洒落な響きを生み出すには、JAZZの和音がいかに有効的かという事でした。元々ジャズの曲を選んだ方もいれば、有名なメロディにジャズの味付けを工夫したりと、これこそアレンジャーの腕の見せ所！皆さんのセンス、個性がそれぞれに光っていたピアノ・コンサートでした。本物のグランド・ピアノと遜色ない程の音色を生み出すローランドの優秀な技術と、贅沢な空間を提供して下さったアウディ・ジャパン、そして日本を代表するアレンジャー達の紡ぎ出す音の魔法に酔いしれた素敵なひと時でした。

また、2回、3回と、この企画を続けて、いつか私達の創意工夫が詰まったピアノ・アレンジ集の楽譜が出版されたら面白いだろうな〜と、期待せずにいられません。企画から司会進行まで担当された三枝先生、小六先生をはじめ理事の皆様、良い機会を与えて頂きありがとうございました！

第1回定時社員総会報告

平成23年5月26日午後2時30分、一般社団法人日本音楽著作権協会9階理事会議室において定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	201名
総社員の議決権の数	201個
出席社員数(委任状によるものを含む)	113名
この議決権の総数	113個
出席理事	芥川マズミ 小六禮次郎 三枝成彰 篠崎正嗣 すぎやまこういち 寺嶋民哉 外山和彦 直居隆雄 萩田光雄 服部克久 山下康介 若草恵 渡辺俊幸
出席監事	小森昭宏 馬飼野俊一

以上のとおり社員の出席があったので、理事外山和彦は選ばれて議長となり議長席につき、本日の出席社員数及びその議決権の数が上記のとおりである旨を事務局萩田恭代より報告をうけ、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 2010年度活動報告及び承認に関する件

議長の指名により理事直居隆雄が当期における下記の活動報告をした。

1. 公益活動

議長の指名により理事長小六禮次郎が当期における下記の活動報告をし、会長服部克久が補足した。

2. 著作権関連

議長の指名により理事直居隆雄が当期における下記の活動報告をし、理事外山和彦が補足した。

3. 著作隣接権関連

4. 権利擁護活動

議長の指名により常任理事萩田光雄が当期における下記の活動報告をし、理事寺嶋民哉が補足した。

5. 広報活動

以上により議長はその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第2号議案 第1期(平成22年9月1日至平成23年3月31日)事業報告及び決算の承認に関する件

議長の指名により、当会顧問会計事務所森税務会計事務所森勇二が当期における事業状況を事業報告及び附属書類により詳細に説明報告し、下記の書類を提出した。又、監事小森昭宏から監査結果の報告があり、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

1. 貸借対照表

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

3. 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属書類

第3号議案 理事全員任期満了に伴う改選の件

議長は、定款の規定に基づき、理事全員が任期満了退任となるため、改選の必要がある旨をのべその選任につき総会に諮ったところ、川口真、坂本昌之、外山和彦、萩田光雄、原田敬子、前田俊明、山移高寛、若草恵は賛成票112、反対票1により選任した。朝川朋之、小六禮次郎、三枝成彰、佐藤直紀、猿谷紀郎、篠崎正嗣、すぎやまこういち、千住明、寺嶋民哉、直居隆雄、服部克久、服部隆之、ポブ佐久間、宮川彬良、山下康介、湯浅讓二、渡辺俊幸は満場一致により選任した。なお、被選任者はいずれも即時就任を承諾した。

第4号議案 監事の選出

議長は、定款の規定に基づき、監事は任期中のため報告のみ行った。

第5号議案 2011年度活動計画の承認に関する件

議長の指名により、新業務執行理事直居隆雄が新会長、副会長、常任理事、理事、事務局長を報告し、新副会長小六禮次郎が執行部の新組織を報告した。又、業務執行理事直居隆雄が2011年度活動計画を報告した。議長はその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第6号議案 2011年度予算案の承認

議長の指名により、当会顧問会計事務所森税務会計事務所森勇二が予算案を説明し、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

議長は午後5時30分閉会を宣した。



JCAA 新組織

【会長】	服部克久	【副会長】	小六禮次郎 三枝成彰
【常任理事】	猿谷紀郎 寺嶋民哉 外山和彦 萩田光雄 渡辺俊幸		
【業務執行理事】	直居隆雄		
【理事】	朝川朋之 川口真 坂本昌之 佐藤直紀 篠崎正嗣 すぎやまこういち 千住明 服部隆之 原田敬子 ポブ佐久間 前田俊明 宮川彬良 山移高寛 山下康介 湯浅譲二 若草恵		
【監事】	小森昭宏 馬飼野俊一		
【法律顧問】	神谷信行	【会計顧問】	森税務会計事務所(森 勇二)
【事務局長】	萩田恭代		

執行部

【企画部】	小六禮次郎(部長) 朝川朋之 北爪道夫 猿谷紀郎 篠崎正嗣 寺嶋民哉 外山和彦 萩田光雄 山下康介
【著作権部】	小六禮次郎(部長) 池毅 千住明 ポブ佐久間 前田俊明 宮川彬良 山移高寛 若草恵 渡辺俊幸
【国際部】	湯浅譲二(部長) 入野禮子 猿谷紀郎 外山和彦 原田敬子
【広報部】	寺嶋民哉(部長) 芥川マスミ 萩田光雄 光宗信吉 横山淳 若草恵
【JCAA for You 委員会】	外山和彦(委員長)
【現代音楽専門委員会】	三枝成彰(委員長) 芥川マスミ 木下牧子 猿谷紀郎 原田敬子

(敬称略)

JCAA for You 委員会より**委員長 外山和彦**

一般社団法人となり、その第一回めの総会で新執行部が選出された。JCAAも変化の季節に入ったのだ。さて、ちょっとお知らせ。JSPA(日本シンセサイザープログラマー協会)が毎年開くシンセサイザー・フェスティバル。今年は10月8、9日に新宿の花伝舎で。今年はJSPAとJCAA共同企画でセミナーをfor Youともからめて行う予定。間もなく企画発表します。乞うご期待!

広報部よりごあいさつ**部長 寺嶋民哉**

少し前まで、Wikipedia の僕のプロフィールには「作曲家・雑誌編集者」と書いてあったのですが、雑誌編集者なんて微塵も心当たりが無くびっくりでした。後に誰かが消してくれたようですが、どこの誰が何の勘違いをされたのか、さっぱりわかりません。どんなに記憶をさかのぼってみても、せいぜい思い当たるのは小学生の時のかべ新聞作りくらいです。今回の組織改革で広報部長になってしまったのですが、まさかこの事を暗示していたとか…。冗談はさておき、楽しく広報して行きたいと思っておりますので、みなさま、大ネタ小ネタ、とりあえずどんな事でもかまいませんので、ぜひネタ提供してください。どうぞよろしく願いいたします。

部長 芥川マスミ

会員数 200 名突破、法人格を取得して初めての会報になりますが、メールでの配信・ホームページからの閲覧を含め、委員会では新しい企画も進めてゆきます。JCAA の活動をお伝えするとともに、ご意見の集まる広場にしたいとも考えておりますので、よろしく願いいたします。

部長 萩田光雄

永年会報の編集に携わって来ましたが、二世若い寺嶋さんにプロジェクト・リーダーになっていただき、刷新をめざします。装丁を豪華にすることは現実困難ですが、中身に関するご要望をどうぞお寄せください。

部長 光宗信吉

震災前なら点けばなしにしても平気だった家中の楽器と PC の電源を、今では一区切りつくたびに落としています。それでもなんの問題もないことに気づいたことは新鮮でした。皆さま、よろしく願いいたします。

部長 横山 淳

新体制になった JCAA にとって広報活動は一層大事なものになっていると感じます。JCAA から発信される情報が生き生きと伝わるような風を起こすべく微力を尽くしたいとおもいます。よろしく願いいたします。

部長 若草 恵

この度日本作編曲家協会が法人になった事により、会も実効性を求め新たな組織に成りました。その中で広報部は、新たな組織の活動を会員皆様に常に告知をし、全員参加の会にするための大きな責任を持ったと思っております。微力ながらその一端を担って頑張りたいと思っております。